

韓国の夏はサイド（THAAD）配備反対で 燃え上がっていた

八月一四日から一六日

まで韓国へ行ってきました。

前号で日韓平和連帯

共同代表の一人として山

元一英委員長の文書が掲

載されましたが、その団

の一員に混ぜてもらって

の韓国行きです。日韓平

和連帯は今年二月に結成

され、日韓平和連帯とし

ては今回初めての訪韓で

す。

この原稿を書くにあたっ

て日韓ネットのブログに

掲載された記事を参照さ

せていただきました。

光化門広場から

日本大使館前

一日目は昼頃金浦空港

につき韓国進歩連帯のソ

ン・ミヒさんたちに迎え

られてソウルの宿舎へ。

昼ご飯を食べて光化門広

場に向かいました。

そこではセウオル号惨

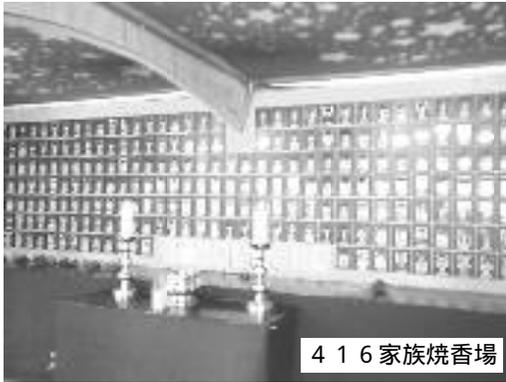
事の真相究明を求めて八

ンストが続いており、犠

牲となった子供たち、一

般人、船員たちの焼香場

がありました。



416 家族焼香場



8月14日 光化門前で 円卓会議

黙とうをしてから光化

門前の「自主平和統一の

ための一〇〇〇人円卓会

議」に三〇分だけお邪魔

しました。これは、北側

が呼びかけた南・北・海

外（在住）の各界代表に

よる連席会議の提案を

朴槿恵政権が拒否したた

め、南側の各界代表一〇

〇〇人の円卓会議という

形をとったものです。

円形のテーブルを百個

並べ学術団体、市民団体、

女性団体などが集まって、

自主統一のためにどうす

るか討論されました。

次に徒歩で日本大使館

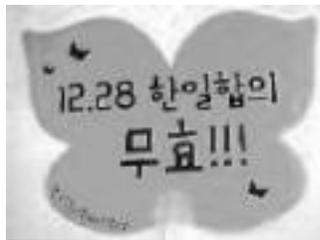
前へ。大使館は工事中で

シートで覆われていまし

た。その前で日韓政府間

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

「慰安婦」合意を批判する「ナビ(蝶)文化祭」が行われてました。在日韓国人歌手・李政美(イ・ジョンミ)さんが舞台上で熱唱し、そろいの黄色いTシャツを着た十代の若者が大勢参加していました。そのときも買った団扇(左)。



12・28韓日合意は無効!!

サード配備反対集会
日本大使館前から徒歩
でソウル市庁広場へ。統
一ビビンバとヨーグルト



をいただき、集会の始まりを待ちました。午後七時から「サード(THAAD)韓国配備撤回汎国民大会」が始まりました。サードが配備されるソングジュ(星州)郡民もこの大会に大勢来ておられました。

アメリカからもベテランズ・フォー・ピース

(VFP)のウィリアム・グリフィンさん、宇宙への兵器と核の配備に反対するグローバル・ネットワーク事務総長のブルース・ギャグナンさんの二人が参加されていました。ソングジュでは、この日三十三回目のろうそく集会が行われており、ソウルでもろうそくを持って応えました。ソングジュから来た人々も舞台上上がり歌と踊りを披露。その後、ソングジュ農民会の李ジェドン会長があいさつしました。

最初はソングジュだけはダメという気持ちだった。その後たくさん勉強してソングジュだけの問題ではないと分かった。ソングジュに要らないものは韓国にも要らない、世界中どこにも要らないと変わっていった。

このままではソングジュはアメリカの軍事的な植民地になってしまふ。絶対に対に受け入れられない。

そして国の反対運動に対する妨害工作を弾劾し、翌日ソングジュで一万人集会をすることを知らせました。

そのとき、大画面にソングジュで開かれているろうそく集会の様子が映し出され、衛星中継でソングジュとソウルがつながりました。大きな歓声がありました。



続いて同じ場所で自主平和統一文化祭が行われ、多様な出し物をみて夜は更けていきました。

八月十五日、大学路

「光復七一周年 朝鮮半島の平和と自主統一のための八・二五民族大会」に参加しました。あまりの暑さにメモを取る気力も失せ、腰痛も手伝って

途中から歩道に避難していました。デモのとき頭からペットボトルの水をかぶっている人を見ました。

発言の最初は六・一五共同宣言実践南側委員会のイ・チャンボク常任代表議長。氏は南北の交流窓口である開城(ケソン)工業団地閉鎖など、すべての民間交流の場が政権によって閉ざされている一方、日韓「慰安婦」問題合意と米軍サード配備などの政策が「北朝鮮圧迫のため」とされている。同族を抹殺するために外勢を引き込んで、国の主権と平和を捨てるということ

し、南側委員会は対話と交流の場を設ける努力を続けると語りました。

日本訪問団からフォーラム平和・人権・環境の藤本泰成共同代表が発言。氏は、安倍政権が憲法改悪を通じて「戦争をすることができる普通の国」を目指していると安倍政権を批判し、これらに反対していく決意を表明しました。

韓国挺身隊問題対策協議会ユン・ミヒャンさんは、被害者ハルモニたちの頭上を飛び越えて締結された日韓合意を糾弾し、「公式謝罪、法的賠償など正当な要求を解決するために国民と共に闘い抜

く」と話しました。終了後、横断幕を掲げてデモ行進しました。

デモ後、国際平和討論会に参加しました。ここでは日本側から渡辺健樹・日韓民衆連帯全国ネットワーク共同代表と山元一英・日韓平和連帯共同代表が発言し、沖縄から反基地闘争についての報告がありました。

そしてハン・チュンモク韓国進歩連帯常任代表が東アジアの平和に寄与するための平和連帯として「コリア国際平和フォーラム」K I P F 結成を提案し、方向について賛同されました。

アート・アド分会 N